

# 営業の概況

## ■経済情勢

当期におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱による景気急減速から、大幅に悪化しております。輸出は昨秋から、海外経済の悪化などを背景に大幅に減少しており、このため設備投資も大幅な減少が続いております。また、雇用・所得環境が厳しさを増す中で個人消費は力強さを欠き、住宅投資も低迷しております。

以上のような内外需要環境及び在庫調整圧力を背景に、生産は大幅に減少しました。

金融面につきましては、世界的な金融不安の高まり、わが国の実体経済や企業業績の急速な悪化などから、日経平均株価は一時7千円台前半まで下落する局面もありました。このような金融混乱による実体経済の悪化に歯止めをかけるために、日本銀行は、2回にわたる政策金利の引き下げを行いました。

## ■当行の業績

当行は「安心、先進、そして前進」をキーワードに、〈池銀〉“地域起こし”制度の推進、セキュリティ重視のICカードの発行等、新商品の開発、店舗網の拡充などを進め、地域との共生を目指しております。

〈池銀〉“地域起こし”制度につきましては、「ニュービジネス助成金」、「コンソーシアム研究開発助成金」の2つの助成金制度への創設以来の応募累計が1000件を超えました。また産学連携協定を締結している同志社大学とのコラボレーションセミナーや、地元自治体向けのセミナーを通じて、地域の活性化に取組みました。

商品につきましては、お申込時に今年の桜の開花日を予想していただく「花咲か定期」の取扱いを開始するとともに、多様化する資産運用ニーズにお応えするために、阪神間唯一の独立系地方銀行の立場を生かし、バラエティに富んだ保険商品、ファンドを取り揃えております。

さらにお客さまの更なる利便性向上を目指し、西日本最大級のショッピングセンター「阪急西宮ガーデンズ」に

A T Mコーナーを新設しました。ステーションATM「Patsat(パツとサツ)」も阪神電気鉄道に拡大し、阪神梅田駅および尼崎駅に設置しました。

業績は、次のとおりとなっております。

**預金** 個人預金・法人預金とも順調に推移し、年間626億円増加して、総預金の期末残高は、2兆2,537億円となりました。

**貸出金** 事業性貸出を中心に増加し、総貸出金の期末残高は年間662億円増加して、1兆6,656億円となりました。

**有価証券** 効率的な有価証券の運用を心掛け、年間2,889億円減少して、6,465億円となりました。

**損益** 本業の預金、貸出金、預かり資産残高は順調に推移しておりますが、世界規模での金融市場の大混乱により、当行の保有有価証券も甚大な影響を受けました。健全性を重視した、厳しい基準による減損処理を行うことに加え、更なる景気悪化に備えて予防的な不良債権の引当処理を実施した結果、誠に遺憾ながら372億円の純損失を計上するに至りました。

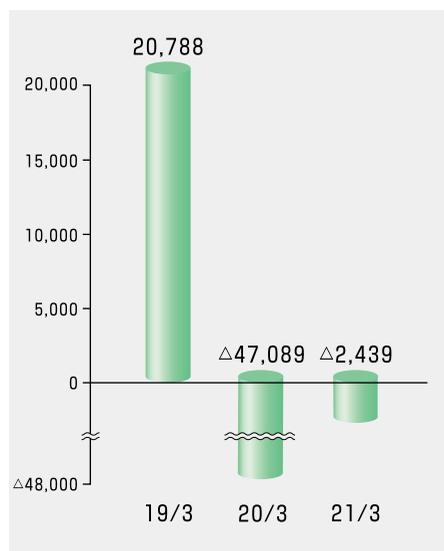
**配当** 多額の損失計上となりましたので、普通株式及び第一種優先株式は誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

## ■今後の課題

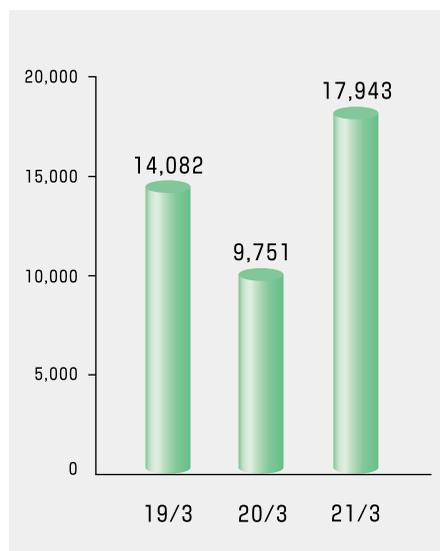
世界経済の悪化を背景にわが国経済は低迷長期化が予想されますが、引き続き財務の健全化に努め、効率経営を推進し、業績回復および復配に努めてまいります。

5月25日には、10月1日(予定)に泉州銀行と経営統合することに合意しました。統合効果・経営効率の向上を図り、成長戦略を加速させるため、①人材・人員の戦略的配置 ②事務システム統合等による効率化 ③財務基盤の強化 ④オープンなネットワークの強化に取組み、株主やお取引先、地域の皆さまのご信頼、ご期待にお応えしてまいります。

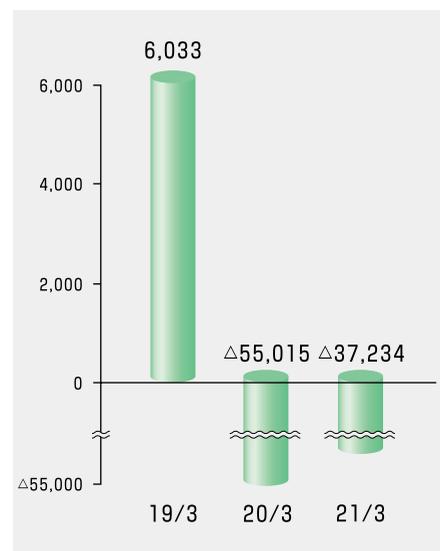
### 業務純益 (単位:百万円)



### コア業務純益 (単位:百万円)



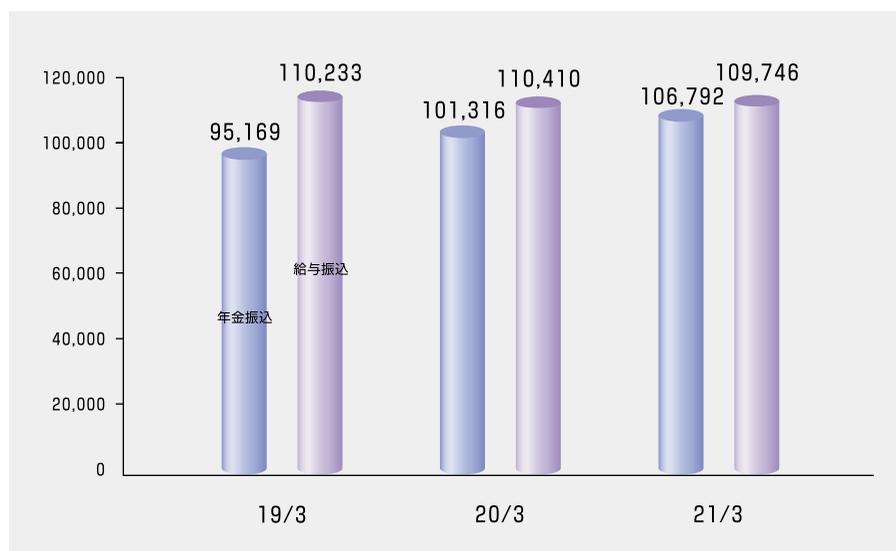
### 当期純利益 (単位:百万円)



### 預かり資産 (単位:億円)

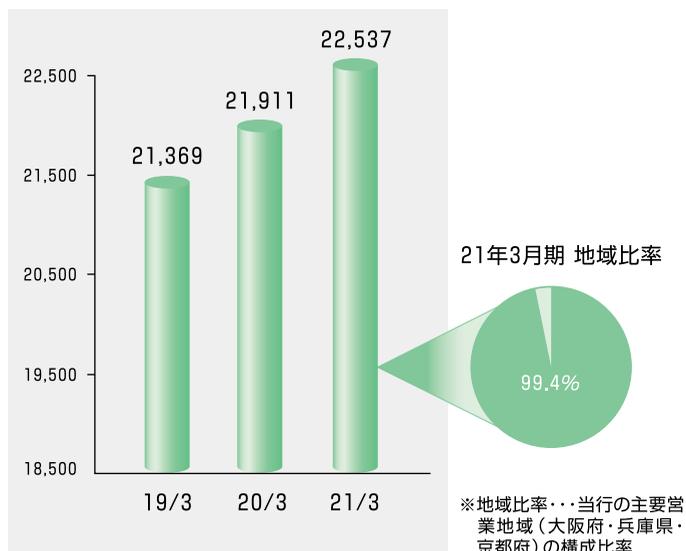


### 年金振込・給与振込 (単位:件)

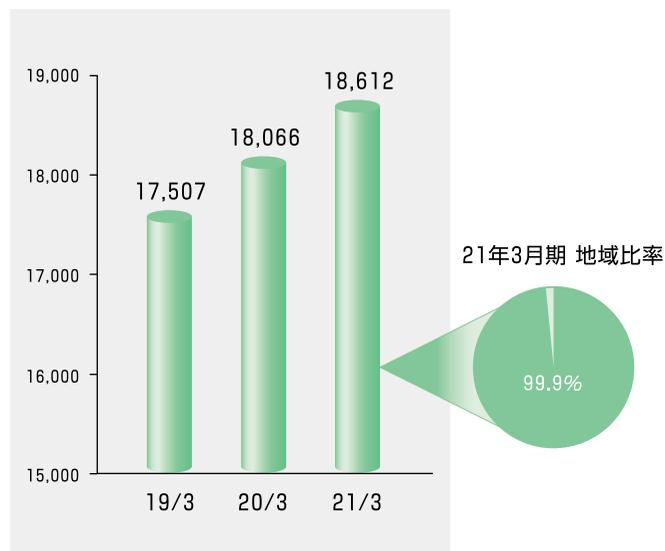


※個人年金保険等は、販売累計額を計上しております。

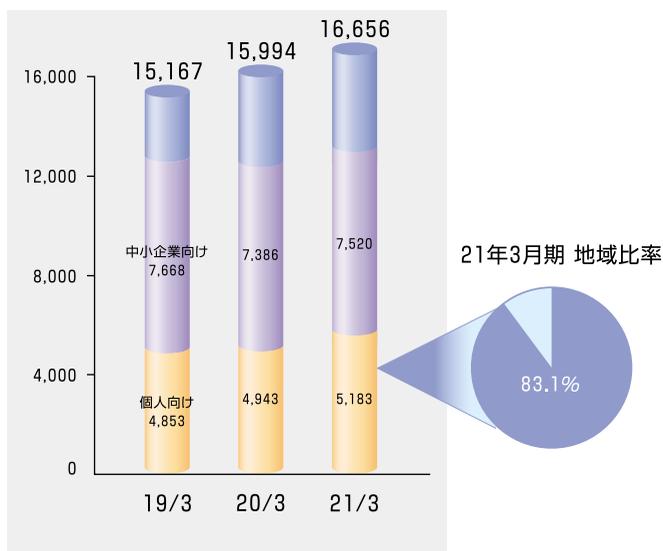
## 預金残高 (単位:億円)



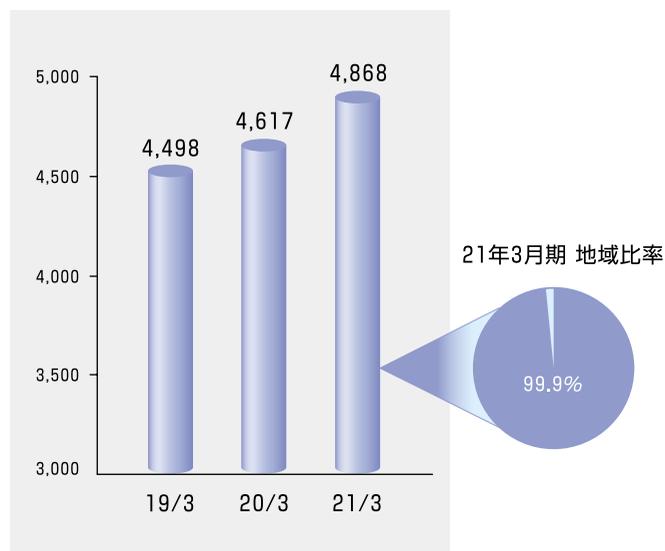
## 個人預金 (単位:億円)



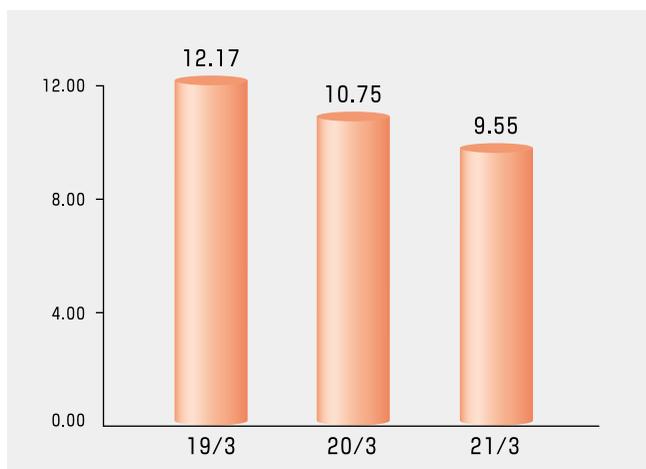
## 貸出金残高 (単位:億円)



## 住宅ローン (単位:億円)



## 自己資本比率(国内基準・単体) (単位:%)

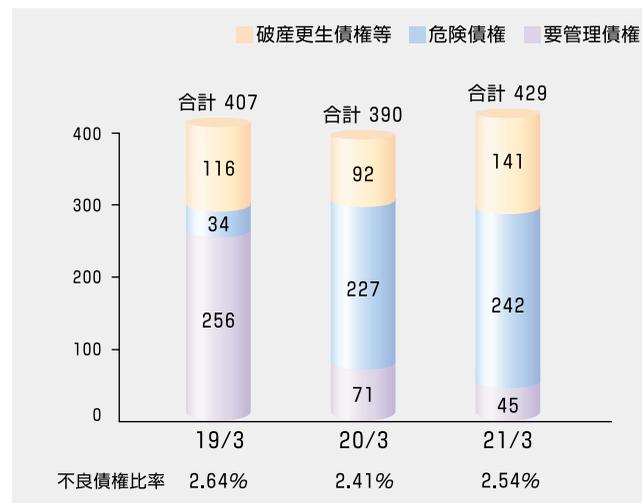


※自己資本比率の計算方式(国内基準)

$$\frac{\text{基本的項目(資本金、剰余金等)} + \text{補完的項目(一般貸倒引当金、劣後ローン等)}}{\text{リスクアセット(信用リスク度合いを考慮した資産額)}} \times 100$$

## 資産の健全化について (単位:億円)

金融再生法に基づく債権の開示



## 平成21年3月期の保全状況 (単位:億円)

	債権額	保全額	保全率
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	141	141	100.0%
危険債権	242	212	87.4%
要管理債権	45	29	65.6%
合計	429	383	89.2%
正常債権	16,409		

保全額:担保等による保全額+貸倒引当金

## 有価証券の状況(残高・含み損益) (単位:億円)

